

県立美術館企画展案内

「ブカレスト国立美術館  
所蔵絵画展」

会期 十一月十日(日)～十二月八日(日)  
会場 県立美術館

観覧料

一般・大学生 820円(660円)  
高校生 610円(460円)  
小・中学生 410円(300円)  
※( )内は20名以上の団体料金

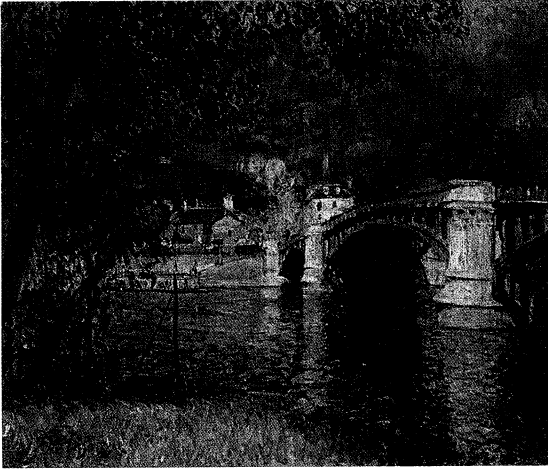
休館日 毎週月曜日

一九四八年に創立されたブカレスト国立美術館は、旧ルーマニア王家のコレクションを基礎に、王宮の建物に作られた美術館で、古今東西の十万点以上にも上る美術品を所蔵しています。今回は、そのコレクションの中から、十六世紀から二十世紀にわたるヨーロッパ絵画の名作及び、これまで紹介されること

の少なかったルーマニアの近・現代美術の作品があわせて展示されます。

ヨーロッパ絵画は、イタリア十六世紀の巨匠ティントレット、十七世紀フランドルを代表するルーベンスをはじめ、オランダ、スペイン、ドイツ、ロシアの古典の名作及び、クールベ、モネ、マティスなどフランス絵画の名品を併せて五十点が出品され、ルネッサンスから二十世紀までのヨーロッパ絵画の流れが一望できます。

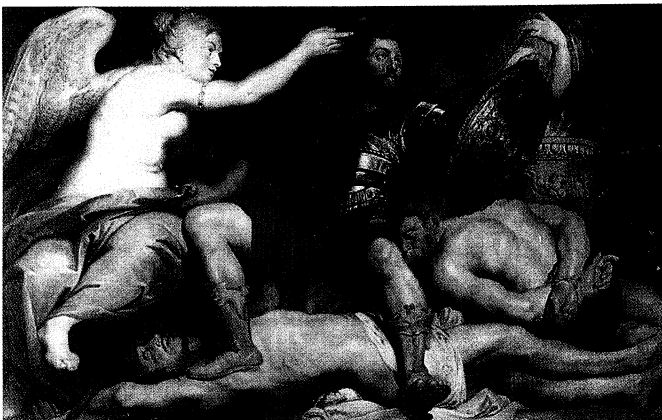
また、フランス美術の影響を受けながらもルーマニア独自の民族性のうちに个性的世界を築いた十九世紀半ばから一九五〇年代までのルーマニアの十一作家の作品二十二点が出品されるほか今回特別に一九八九年十二月のルーマニア革命で美術館にも戦禍が及んだ際、銃弾で損傷を受けた作品一点も展示されます。



▲ アルフレッド・シスレー「セーヌ川の橋」1877年



▲ イオアン・アンドレスク  
「緑色の頭巾をかぶる若い農婦」  
1881年以降



▲ テオドール・ファン・テュルデン「将軍の大勝利」



▲ エリザベト・ヴィジエールブラン  
「タゲソー夫人の肖像」1770年頃